

JR広島駅周辺地区における現状と問題点



●歩行者用信号機がなかったり、あっても音響化されていない。



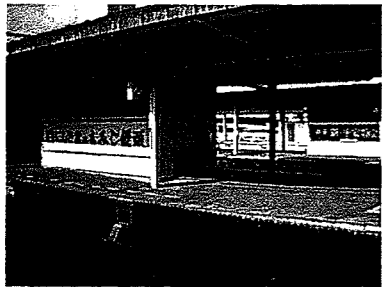
(地下自由通路)  
●スロープの縦断勾配が、現在の基準よりも急である。  
●雨天時滑りやすい。



●歩道幅員が狭く、歩道上に電柱等の障害物がある。  
●舗装の傷みが激しく、段差も大きい。



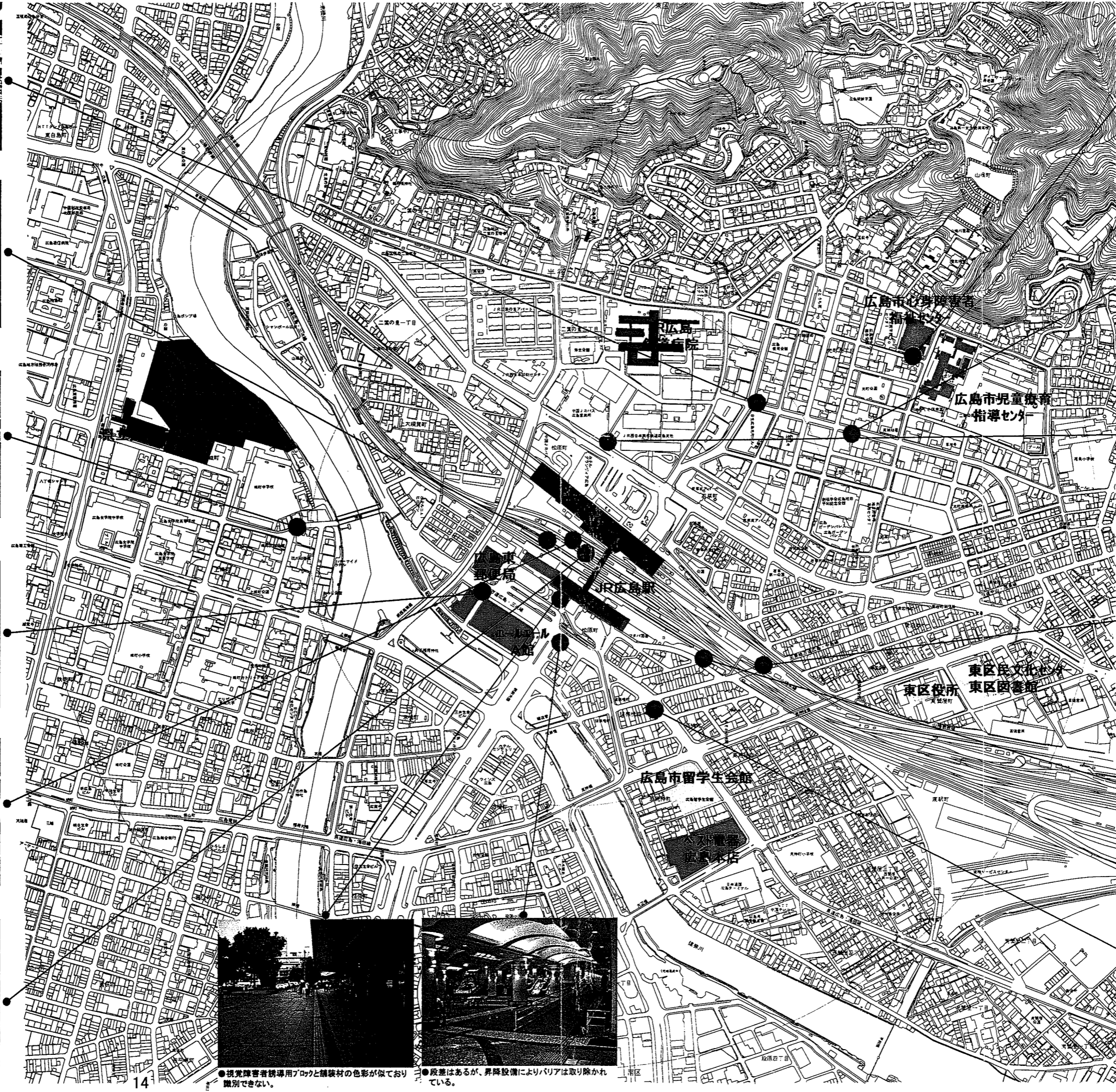
●スーパー前の歩道上に駐輪が多く歩行空間を狭めている。



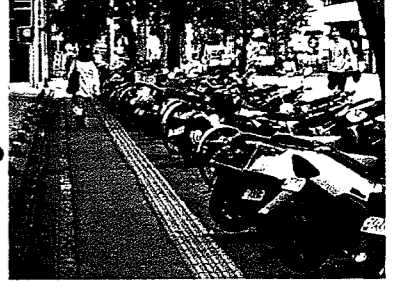
●車椅子でホームに行くには業務用エレベータを使用している。



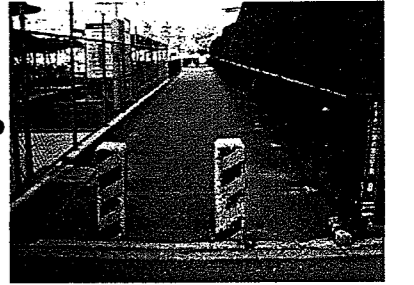
●一部を除き、各ホームへの昇降設備(エレベーター・エスカレーター)がなく階段のみである。



●歩道幅員が狭く、視覚障害者誘導用ブロックの付近に電柱等の障害物がある。  
●舗装材と敷設式の視覚障害者誘導用ブロックでは、表面の質感が似ており、識別しにくい。



●歩道上に駐輪が多く、歩行空間が狭くなっている。



●JR広島鉄道病院へ通じる道路に車止めがあり、車椅子で通行できない。



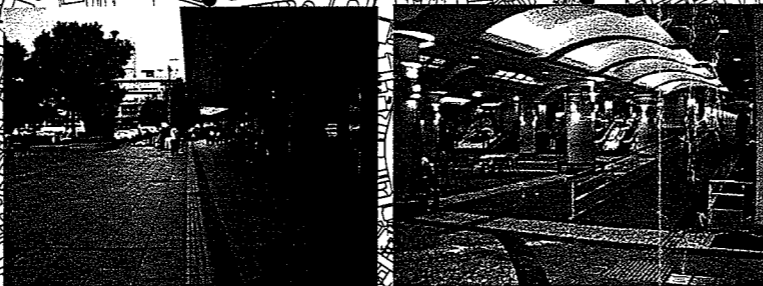
●道断時間が長く、かつ頻繁であるため、通行可能となる時間が短く、特に高齢者の通行が困難である。



●違法駐車が多く、また歩道がない。



●商店街の店先に商品や荷物が歩道の上に置かれ障害となっている。  
●視覚障害者誘導用ブロックが途切れている。



●視覚障害者誘導用ブロックと舗装材の色彩が似ており識別できない。  
●段差はあるが、昇降設備によりバリアは取り除かれていない。